

知的書評合戦「ビブリオバトル」開催

6月21日(水)17時45分から図書館読書指導室において「松山大学ビブリオバトル2017(前期)」(松山大学図書館・松山大学生協 共催)が開催されました。

「ビブリオバトル」は前年に引き続き7回目。バトラー(発表者)が読んで面白いと思った本を持ち寄り、一人5分間でその本を紹介し、それぞれの発表の後にその発表に関するディスカッションを3分程度行い、全ての発表が終わった後に「どの本が一番読みたくなったか?」を基準に参加者全員で投票し、「チャンプ本」を決定します。

今回は9名のバトラーが、それぞれ気に入った本を持参し、観客を前に熱意を込めて本の紹介を行い、発表後は、活発なディスカッションが繰り広げられました。

投票の結果、優勝には「恋文の技術」(森見 登美彦著)を紹介した糸原 健太朗さん(人文学部社会学科3年生)が選ばれチャンプ本に決定し、準優勝には「最良の嘘の最後のひと言」(河野 裕著)を紹介した中川 雄登さん(経営学部経営学科2年生)が選ばれました。2人には賞状と記念品が授与されました。

優勝者・準優勝者の図書は、図書館にて発注・受入を行い、展示コーナーにて紹介しています。

また、ビブリオバトルの様子はデジタルサイネージでも紹介しています。



優勝した糸原健太朗さんによる紹介



バトラー全員による記念撮影

Contents

- オープンキャンパス2017開催! P2
- 「書評の書き方教室」開催 P3
- 私が薦めるこの一冊 経営学部 成田 景堯 P4
- 図書館学生アドバイザースタッフ「C3」 P5
- 第7回大学図書館学生協働交流シンポジウム開催! P6
- 図書館NEWS P7
- 図書館開館日程 P8

オープンキャンパス 2017 開催!

平成29年8月5日(土)・8月6日(日)の2日間、オープンキャンパス 2017が開催され、県内外から、高校生・保護者ら多数来場されました。不安定な天候ながらも多くの来場者を得ることができました。

図書館では、デジタルサイネージによるイベント紹介、学生アドバイザースタッフC3によるクイズラリーや見学ツアーも行われ、また初日だけでしたが稀観書の「国富論」(アダム・スミス著)も展示され、2日間でのべ1,131名の方々にご来館いただきました。



さあ、入館!



受付の様子



館内見学の様子



学生による館内案内



クイズラリー後のプレゼント「しおり」



図書館 1 階の様子

「書評の書き方教室」開催

「書評の書き方教室」(松山大学図書館主催)が下記の通り開催されました。

講師は前年度と同じく経営学部教授 藤田総司先生で、内容は「書評とは何か ―読書感想文、ブックレポートとの違い―」。

藤田先生は、「書評」とはそもそも何か、書き方はどうするのか、といった基本的なことから具体的な事例まで教えていただきました。

9月より募集を開始した「松山大学書評賞」も、たくさんのご応募をお待ちしております。

第1回 5月26日(金)

17:45～19:00 図書館読書指導室(参加者数:4名)

第2回 6月29日(木)

17:45～19:00 図書館読書指導室(参加者数:14名)



私が薦めるこの一冊

経営学部 成田 景堯



小売業のマーケティング

清水 滋 著

ビジネス社 1992年

請求記号：673 S 27 1

配架場所：図書館 閉架

『小売業のマーケティング』は、小売業者が日々実践している商品の売買活動を体系的かつ詳細に書かれている本である。

高度な社会的分業が実現している現代において、買い物せずに生活をしていける人はほとんどいない。その消費者の買い物活動を直接お手伝いする業者が、小売業者である。彼らは店舗やインターネットなどを通じて、消費者に商品を販売している。一見、誰もができる平凡な商品の売買活動の背後に多くの工夫が隠されている。

例えば、大抵の食品スーパーは、入口から果物、野菜、魚、お肉、デリカというような順で並べられている。この何気ない並び順には、意味がある。四季がはっきりし、多くの国土が海に面している日本で生活している人にとって、複雑な調理よりも食材を味わう食習慣をもっている。そのため、日本人は食材に対して敏感であり、そしてほぼ毎日スーパーへ旬な食材を買い求めに行くのである。食材のなかでも、時期や天候によって影響を受けやすいのが野菜である。そのため、食品スーパーはまず野菜を選んでもらってから、それに合う魚や肉を選んでもらうという考えのもとで野菜を入口近くに並べているのである。また、生鮮三品(野菜、魚、肉)のあとにデリカ(スーパーで作

られた一品料理)が並べられている理由は、生鮮売場で決定されたメイン料理を補完するために、という考えが込められている。この他にも販売量に合わせた適切な発注量の算出や一目瞭然な売場作り、周辺住民に合わせた品揃え、商店の立地選択、サプライヤーとの協業などの工夫が隠されている。

推薦者は小売経営を研究テーマにしているため、これまで多くの小売経営に関係する専門書や雑誌を読んできた。そして多用している研究方法の関係で、多くの小売企業の経営者やバイヤー、および売場担当者とも接してきた。

多く読んだ小売経営に関係する専門書や雑誌のなかでも、『小売業のマーケティング』のように、体系的な理論をもち、かつその理論を具体的にどのように現場で使用されているか、すなわち理論と現場の接続を丁寧に書いたものを見たことがない。

この本は、小売業や店舗経営に興味のある方にはもちろんのこと、日常のなかに潜んでいる理論や考えについて興味がある方にも、ぜひ手に取って、読んでほしい。読み終わったころには、きっと毎日が、新しい発見にあふれ、楽しいと思うであろう。

図書館学生アドバイザースタッフ「C3」

■ C3って？

「C3」のネーミングは、「Chance」「Challenge」「Change」の頭文字からとったものです。「与えられたChance(機会)を活かし、積極的にChallenge(挑戦)していくことで、大好きな図書館をより多くの人に好きになってもらえるようにChange(変化)させていこう！」というコンセプトで名づけられました。

学生の図書館利用促進のため、図書館をもっとより良くしたいと思っているメンバーによって、各種イベントを企画・立案・実行している学生サークルです。

■ 活動紹介

● 図書館見学ツアー

主に、オープンキャンパスや新入生を対象に、地下2階から地上4階を回る図書館見学ツアーを実施しています。図書館をもっと詳しく知ってもらえるよう、クイズラリーも交えながら、今年も多くの方に参加していただきました。



● ブックハンティング

年に2回程度、実際に書店に行き選書を行います。選書した本は1階「C3選書コーナー」に配架されます。学生目線で選ばれた本なので、比較的読みやすい図書が多く、人気のコーナーとなっております。



他にも、図書館主催のイベント補助や、1階展示を行っています！



第7回大学図書館学生協働交流シンポジウム開催!

9月5・6日(火・水)の2日間、第7回大学図書館学生協働交流シンポジウムが愛媛大学城北キャンパスにて開催されました。

今回は「図書館がきりひろく航路(ミライ)ー悩み解決・つながり強化ー」をテーマに、南は沖縄から北は東京まで、図書館ボランティアに携わる大学生と職員およそ160名が参加し、活発な意見交換がなされました。

初日のワークショップでは、悩み別に班に分かれて話し合いをし、みんなでミライをきりひろくアイデアを出し合いました。2日目のポスターセッションでは、各大学の事例発表を聞くことにより、自分たちの活動へのヒントを探ることができました。

C3(図書館学生アドバイザースタッフ)の学生たちも前日の準備からイベントまで携わり、それぞれの役割分担を果たしました。



C3メンバー



参加者記念撮影



ポスターセッション



閉会の挨拶 本学図書館長・妹尾克敏

図書館NEWS

新しい視聴覚資料がはまりました!!

1階視聴覚ブースでは、皆さんに豊かな映像と音楽をお楽しみいただくため視聴覚資料を館内貸出しています。今年度は、DVDやブルーレイディスクが100点ほど入る予定です。授業や勉強の合間の気分転換などにご利用ください。



宇佐美 まこと さん 第70回日本推理作家協会賞 受賞

宇佐美まことさん(本学卒業生・松山市在住)の『愚者の毒』(祥伝社)が、第70回日本推理作家協会賞「長編および連作短編集部門」を受賞しました。

1階展示コーナーやデジタルサイネージでも、宇佐美まことさんの作品を紹介しています。



図書館来館時の宇佐美まことさん



— 受賞作 —

『愚者の毒』
宇佐美 まこと / 著
祥伝社 2016.11

宮下 雄一郎 准教授 第34回渋沢・クローデル賞 受賞



— 受賞作 —

『フランス再興と国際秩序の構想
- 第二次世界大戦期の政治と外交』
宮下 雄一郎 / 著 勁草書房 2016.4

第34回渋沢・クローデル賞(公益財団法人日仏会館・読売新聞社共催)の発表が行われ、松山大学法学部の宮下雄一郎准教授の著作『フランス再興と国際秩序の構想—第二次世界大戦期の政治と外交』(勁草書房、2016年)が奨励賞を受賞しました。

受賞作は、宮下准教授が1940年以降のフランスを通して政治における理想と現実を研究テーマに執筆されたものだそうです。

「渋沢・クローデル賞」とは…

公益財団法人日仏会館が1984年に創立60周年を迎えたのを機に、創立者である渋沢栄一とポール・クローデルの二人を記念し設立されました。

日仏両国において、それぞれ相手国の文化に関してなされた優れた研究成果に対して贈られるものです。

図書館 開館日程

本館・薬学部分室		本館・薬学部分室		本館・薬学部分室		本館	
2017年 10月		2017年 11月		2017年 12月		2018年 1月	
1(日)	休館	1(水)	9:00~22:00	1(金)	9:00~22:00	1(月)	
2(月)		2(木)		2(土)	臨時休館 館内整理	2(火)	休館
3(火)		3(金)	休館 文化の日	3(日)	休館	3(水)	
4(水)	9:00~22:00	4(土)	9:00~22:00	4(月)		4(木)	
5(木)		5(日)	休館	5(火)		5(金)	9:00~22:00
6(金)		6(月)		6(水)	9:00~22:00	6(土)	
7(土)		7(火)		7(木)		7(日)	休館
8(日)	休館	8(水)	9:00~22:00	8(金)		8(月)	休館 成人の日
9(月)		9(木)		9(土)	臨時休館 館内整理	9(火)	
10(火)		10(金)		10(日)	休館	10(水)	9:00~22:00
11(水)	9:00~22:00	11(土)		11(月)		11(木)	
12(木)		12(日)	休館	12(火)		12(金)	9:00~17:00 センター試験準備のため休講
13(金)		13(月)		13(水)	9:00~22:00	13(土)	臨時休館 センター試験
14(土)		14(火)		14(木)		14(日)	休館 センター試験
15(日)	休館	15(水)	9:00~22:00	15(金)		15(月)	
16(月)		16(木)		16(土)	臨時休館 館内整理	16(火)	
17(火)		17(金)		17(日)	休館	17(水)	9:00~22:00
18(水)	9:00~22:00	18(土)	推薦入学試験	18(月)		18(木)	
19(木)		19(日)	休館 推薦入学試験	19(火)		19(金)	
20(金)		20(月)		20(水)	9:00~22:00 分室閉館	20(土)	
21(土)		21(火)	9:00~22:00	21(木)		21(日)	9:00~22:00 臨時開館
22(日)	休館	22(水)		22(金)		22(月)	9:00~22:00 臨時開館(I期入試)
23(月)		23(木)	勤労感謝の日	23(土)	休館 天皇誕生日	23(火)	
24(火)	9:00~22:00	24(金)	臨時休館 勤労感謝の日の休日振替	24(日)	休館	24(水)	
25(水)		25(土)	臨時休館 熟田津祭	25(月)	9:00~22:00 分室閉館	25(木)	9:00~22:00
26(木)		26(日)	休館 熟田津祭	26(火)		26(金)	
27(金)		27(月)	臨時休館 体育の日の休日振替	27(水)	臨時休館 館内整理	27(土)	
28(土)		28(火)		28(木)		28(日)	9:00~22:00 臨時開館
29(日)	休館	29(水)	9:00~22:00	29(金)		29(月)	9:00~22:00
30(月)	9:00~22:00	30(木)		30(土)	休館	30(火)	後期授業終了
31(火)				31(日)		31(水)	9:00~17:00

※上記日程は変更が生じる場合があります。開館日程は『松山大学ホームページ』及び『学内ポータル』で確認してください。

インフォメーション

- 卒業予定者は図書資料の返却を、**3月13日(火)まで**に必ず行ってください。
 なお、卒業予定者は3月13日(火)から卒業式までの間、貸出はできません。
- 第103回薬剤師国家試験の日程により、開館時間が変更になる場合があります。

案内

- 長期貸出のご案内
 冬季休暇の2週間前から特別貸出を行っています。
 対象：本学の学生

	冊数	貸出期間	返却期限日
冬季休暇中	5冊	12月12日(火)～12月22日(金)	1月6日(土)

※この期間中でも、ベストセラー・推薦図書・C3図書・NHK講座・GradedReaders・指定図書・資格試験図書の貸出期間は2週間です。

松山大学図書館報 No.60 2017年10月1日発行

編集・発行 松山大学図書館

〒790-8578 松山市文京町4番地2 TEL (089) 925-7111 (代)

ホームページアドレス <http://www.matsuyama-u.ac.jp/>

E-mail: mu-libs@matsuyama-u.jp